

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	官前区第1グループ(宮崎・有馬・野川)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	官前区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 宮崎こども文化センター ①年間延べ利用者数	42,634人	②年間延べ利用団体数	1,301団体
	2 宮崎小学校わくわくプラザ ①登録者数	473人	②年間延べ利用者数	25,067人
	3 宮崎台小学校わくわくプラザ ①登録者数	344人	②年間延べ利用者数	15,781人
	1 有馬こども文化センター ①年間延べ利用者数	26,771人	②年間延べ利用団体数	401団体
	2 西有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	429人	②年間延べ利用者数	20,289人
	3 有馬小学校わくわくプラザ ①登録者数	150人	②年間延べ利用者数	9,288人
	4 鷺沼小学校わくわくプラザ ①登録者数	359人	②年間延べ利用者数	17,281人
	1 野川こども文化センター ①年間延べ利用者数	48,694人	②年間延べ利用団体数	533団体
	2 西野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	186人	②年間延べ利用者数	8,602人
	3 野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	233人	②年間延べ利用者数	13,351人
	4 南野川小学校わくわくプラザ ①登録者数	225人	②年間延べ利用者数	12,018人
	収支実績	単位:円 1 収入 指定管理料 180,132,117 2 支出 人件費 162,427,734 事務費 13,824,279 事業費 4,788,228 その他 4,945,866 合計 185,986,107 3 差引 -5,853,990		
サービス向上の取組	運営協議会と協働して大型行事を実施したことで、地域の幅広いニーズを把握し、地域の活性化に寄与した。また、乳幼児から高齢者までの幅広い地域交流の場となり、多くの子どもが主体性を持って楽しむことができた。			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 地域の枠を超えて豊かな経験ができる場として「ドッジビー大会」、「マジックショー」、「デイキャンプへ行こう」、「こぶんDEハロウィン」などの行事を実施したほか、地域の関係諸機関、中有馬保育園、西有馬保育園との連携による「ちびっこランド」、県立北高校と「ウィンターコンサート」、子ども運営会議で出された意見を反映した事業「野川の星をみよう」など多岐にわたる行事を実施しており、その結果、こども文化センター利用者数はグループ全体で昨年度比10.4パーセント増加している。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続 効率的・効果的な支出	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
		計画に基づき適切な支出をしているか			
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか	5	3	3
		サービスの水準を確保しているか			
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具、遮光・防炎カーテン、飛散防止フィルム等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者に還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	4	4
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
<p>(評価の理由) 今年度ホームページのリニューアルを行ったため、活動報告やイベント情報がとても見やすくなった。また利用者ニーズを的確に把握し、事業に反映させたことで、利用者から「館内が明るくなった。広く感じる。」などの感想が聞かれ、利用者とのコミュニケーションが広がった。ゆつくり、くつろいで遊ぶ姿も増えており、居心地の良さをサービスとして提供できている結果と評価できる。幼児ルームの充実により父親や祖父母の利用も増えており、気軽に楽しく子育てができる地域の居場所として定着している。交換ノートの設置も、幼児親子の新しい仲間づくりのきっかけとなっている。アンケート結果を掲示することにより、利用者の満足度が向上している。職員一丸となって、ホスピタリティマインドを念頭に、明るく元気に、誠実な市民サービスに努めたことが、利用者の増加に繋がっていると思われる。運営協議会を度々開催して活発な意見交換を行っている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センターでは、常時2名以上のスタッフを配置することにより、緊急時や利用者の増加等に対して柔軟な対応ができる体制が確保されている。乳幼児親子の利用が増加傾向にあるが、幅広い利用者の安全確保や居心地の良いこども文化センターの体制作りができ、利用者からの信用を得ている。研修計画に沿った研修を体系的に実施しており、市の研修や外部研修に積極的に参加したことで、職場で必要とされる専門知識を得ることにより資質向上が見られる。個人情報漏洩等はない。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) グループ合同での「普通救命講習」研修を今年度は3回実施したため、職員、臨時職員のほぼ全員が受講して、AEDの使用方法を適正に学ぶことができたことにより、事故発生時への備えができている。食物アレルギー、感染症の対応研修や応急手当研修を実施するなどの取り組みによって、職員の意識が向上し、自覚を持って対処できるようになっている。館の職員会議時にヒヤリハットを含め、日常の子どもたちの安全に関する情報を共有することで、事故の発生を未然に防いでいる。利用者の安全確保のために災害非難訓練用具一式の保管場所を設け、職員全体に周知することによって、児童の安心、安全確保につながっている。小学校の「安心安全会議」やパトロール等の防犯活動に積極的に参加し、地域と一体となり、職員の防犯意識を高めている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

利用者との日常的な係わりの中で、ホスピタリティを重視し、親切丁寧な声掛けとあいさつを励行したことで、利用者とのコミュニケーションが広がり、利用者ニーズの把握が円滑となり、速やかに事業に反映することができているため、来館者数が二桁の増加となっている点が特に評価できる。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて利用者の立場で環境を整備し、各施設の地域性や特性を活かした事業を展開することを期待する。

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	宮前区第2グループ(宮前平・平・白幡台)	評価対象年度	平成26年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	宮前区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	<p>1 宮前平こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 33,559人 ②年間延べ利用団体数 687団体</p> <p>2 富士見台小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 445人 ②年間延べ利用者数 21,762人</p> <p>3 宮前平小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 235人 ②年間延べ利用者数 12,154人</p> <p>4 土橋小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 454人 ②年間延べ利用者数 22,386人</p> <p>1 平こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 32,253人 ②年間延べ利用団体数 367団体</p> <p>2 向丘小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 294人 ②年間延べ利用者数 16,525人</p> <p>1 白幡台こども文化センター</p> <p>①年間延べ利用者数 22,510人 ②年間延べ利用団体数 399団体</p> <p>2 白幡台小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 137人 ②年間延べ利用者数 7,876人</p> <p>3 平小学校わくわくプラザ</p> <p>①登録者数 211人 ②年間延べ利用者数 8,584人</p>
収支実績	<p>単位:円</p> <p>1 収入 指定管理料 163,510,579</p> <p>2 支出 人件費 142,620,331 事務費 13,171,200 事業費 4,100,035 その他 3,559,833 合計 163,451,399</p> <p>3 差引 59,180</p>
サービス向上の取組	児童書や絵本等を購入し、図書の充実を図り、利用者から好評を得ていて、図書の貸出件数が2倍に増えている。わくわくプラザ室の入口に、活動の様子を写真等で掲示し、保護者から好評を得ている。

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
(評価の理由) 継続した取り組みとして、グループ行事「ら・ら・らダイキャンプ」は野外炊飯や自然の中でのクイズラリーの体験を通して仲間との協調性を育む場となっている。「ら・ら・らけん玉交流会」では参加児童がけん玉の楽しさを知り、各施設でのけん玉の普及に繋がっている。「ら・ら・らジャンボカルタ」については、夏休み前から絵札・読み札の製作に取りかかり、内容についても各施設の目ごころの様子が盛り込まれた作品とすることにより、子どもたちの達成感に繋がった。子どもたちの自主性や協調性も養われており、保護者からも行事の継続を望む意見が出ている。					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
支出に見合う効果が得られているか					
(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具、遮光・防災カーテン、飛散防止フィルム等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者に還元している。					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	4	4
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8
(評価の理由) 今年度ホームページのリニューアルを行ったため、活動報告やイベント情報がとても見やすくなった。また、こども文化センターにおいては、貸出玩具の写真を掲示し、子どもたちが気軽に利用できるよう工夫している。わくわくプラザでは、保護者懇談会を年3回開催し、保護者からの意見や要望を運営に反映させている。また、日常の活動内容を保護者へ紹介するためにアルバムを作成し、閲覧できるよう工夫している。行事については、就労している保護者にも参加を促し、協力を得ることができている。その甲斐もあり、行事の参加者が1.5倍に増加した。					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおり人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	4	8
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
(評価の理由) こども文化センターでは、常時2名以上のスタッフを配置することにより、緊急時や利用者の増加等に対して柔軟な対応ができる体制が確保されている。原則として同じ担当職員が一貫して子どもの対応に従事することによって、対応の継続性の確保と、子どもや保護者との信頼関係を構築している。全市の研修や外部研修に積極的に参加したことで、職場で必要とされる専門知識を得ることにより資質向上が見られる。巡回相談員を講師とする「障がい児研修」を実施したことにより、支援を必要とする児童に対する理解が深まった。個人情報漏洩等はない。					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
(評価の理由) 安全点検表や業務マニュアルに沿った点検を毎日丁寧に行うことにより、修繕箇所の早期発見と迅速な修繕の実施に繋がり、利用者や子どもたちが安心して利用できるように努力した結果、利用者からも好評を得ている。運営協議会との共催で子どもたちと地域の方たちが協力して、年末大掃除を実施し、美化に努めたことにより、地域交流の輪が広がった。白幡台こども文化センターでは、外灯を点検し、今まで点灯しなかった箇所を修繕し、点灯させたことで、地域住民からも防犯効果の向上を感謝された。					

4. 総合評価

評価点合計	70	評価ランク	B
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

運営方針に沿って、各施設、グループ合同事業とも「交流」と「体験」を柱に事業の展開を図っていて、情操豊かな子どもの育成に貢献している。異年齢・地域交流を目的とした「こども文化センターまつり」では、子ども実行委員が企画や準備、当日の司会進行を担当したことにより、自信を持ち、行事の企画運営に積極的に係わる子どもの姿を見ることができた。「こども文化センターまつり」は運営協議会との共催事業とすることにより、市民活動の拠点として、広く地域社会の活性化に寄与している。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

今後とも、こども文化センター及びわくわくプラザにおいて利用者の立場で環境を整備し、各施設の地域性や特性を活かした事業を展開することを期待する。